

時間割コード	G3D21109	開講年度	2026				
授業題目	アカデミック・イングリッシュ・フェイズⅢ（中級）				担当教員	内川 安江	
英文授業名	Academic English PhaseⅢ						
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・4時限	対象学生	SⅡ（4）
講義室	共通教育23講義室		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	大学D P						
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力				⇔	大学での学修の土台となるAcademic Skillsを使えるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	上述の目標を達成するために、主にAcademic Writing、Academic Reading及びAcademic Speakingの演習を行う。 ・Academic Writing: エッセイライティング用の教材を用いて演習を行い、3～5パラグラフからなる論理的かつ説得力のある英語論文をつくる。 ・Academic Reading: 専門的な英語文献を読解することで、専門課程の学術探究で必要とされる読解力を磨く。 ・Academic Speaking: アカデミックレベルのプレゼンテーションの実践を通じて、英語のコミュニケーションスキルとプレゼンテーションスキルを磨く。						
(5)授業のキーワード	Essay Presentation Academic Writing Academic Reading Academic Speaking						
(6)授業計画	W1 Orientation. self-introduction Unit 1 Reading 1 W2 Unit 1 Reading 1 の続き W3 Unit 1 Reading 2 W4 Unit 1. Reading 2 + Writing : How to write an essay W5 Unit test for Unit 1 Unit 2 Reading 1 W6 Unit 2 Reading 2 W7 Unit 2 Reading 2. + Grammar & Writing : How to write an essay W8 Writing (1st writing assignment) W9 Review , Mid-term Exam (Unit 2 + extra) W10 Unit 3 Reading 1 W11 Unit 3 Reading 2 W12 Unit 3 Reading 2 + Grammar & Writing W13 Writing (2nd writing assignment) W14 Writing Essay writing practice W15 Review. 授業アンケート W16 End-of-Term Test						
(7)成績評価の方法	授業期間中の習熟度を測る課題(50%) 中間テストや小テストなど(25%) 期末テスト(25%) この授業の達成目標に到達するために必要な出席回数に満たない場合は、成績評価の対象外とし、評点は0点となります。						
(8)成績評価の基準	授業で解説した内容と同レベルの問題が 60%以上解ければ「合格水準にある(可)」 70%以上解ければ「合格水準よりやや上にある(良)」 80%以上解ければ「合格水準よりかなり上にある(優)」 90%以上解ければ「卓越している(秀)」 とみなす。						
(9)事前事後学習の内容	・この授業は2単位のため、60時間以上の授業時間外学習を必要とします。 ・Reading: 長文の記事などを読んで内容をとる授業になります。毎回のworksheetを必ずやり、授業に臨んでほしい。復習としてonline practiceの活用します。 ・Writing: writing の課題は主に自宅学習で行うことになります。本やthe Internetを活用して情報や資料を検索出来るようになっておくことが必要です。google documentの機能やコメント機能を活用します。機能の説明は授業の中で行います。						

(10)履修上の注意	Using an English-English dictionary is recommended. Many electronic dictionaries contain English-English dictionaries such as Oxford Advanced Learner's Dictionary or Collins Co-build Learner's Dictionary. 1) 毎回の授業に欠席せず、臨むことが重要ですが、止むを得ず欠席する場合はメールで連絡を入れるようにしてください。 2) 欠席した日の内容や課題を、eAlps上の掲示を見て把握し、対処するようにしましょう。 3) 授業への積極的な参加と定期的に出題される課題への意欲的な取り組みが必要である。
(11)質問,相談への対応	火曜日は3階の教員控え室または、語学作業室 (lunch time、16:20 - 17:30) 水曜日は3階の教員控え室または、語学作業室 (12:30 - 14:30) email でも受けます。アドレスは、初回の授業で伝えます。
(12)授業への出席	・全ての回に出席することを基本とします。 ・授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外(評点は0点)となります。 ・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみなしません。 ・「学修の補充の対象とする事由」(『共通教育履修案内』参照)により、授業に出席できなかった場合は欠席とします。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください(『共通教育履修案内』参照)。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」(『共通教育履修案内』参照)により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法(『共通教育履修案内』参照)により、共通教育窓口で申請してください。(この場合は、出席扱いにはなりません。)
【教科書】	Q:Skills for Success 4 with online practice. Third edition (Oxford University Press) ISBN 978-0-19-490395-0
【参考書】	English-English dictionary